

## オンラインで面会を カメラ付きノートPC 200台寄贈 アプ ライドが久留米の介護・福祉事業者協に /福岡

毎日新聞 2020年9月29日 地方版

社会一般 >

介護・福祉 >

福岡県 >

ライフ >

ライフスタイル >



パソコンの寄贈式に出席した甫木常務取締役（右）と、重永理事長

パソコン専門店を展開する「アプライド」（福岡市博多区）が28日、介護・福祉事業者などをつくる「久留米市介護福祉サービス事業者協議会」に、カメラ付きのノートパソコン200台を寄贈した。コロナ禍において、オンラインにより入所者と家族の面会を支援するため、同市役所で寄贈式があった。

寄贈されたのは、ウェブ会議システム「Zoom」が利用できるパソコンで、カメラが外付けされ、サポートサービスも受けられる。

グループホームを運営する同協議会の重永啓輔理事長によると、新型コロナウイルスの影響で面会が制限されると、認知症の入所者は孤独感を増したという。また、小規模な事業者にとってはパソコンを買うのも負担だった。

寄贈式では同社の甫木真也常務取締役が「ぜひ役立ててほしい」と述べた。重永理事長は「入所者や家族の安心につながる。有意義に使いたい」と感謝した。【高芝菜穂子】

〔筑後版〕